

地域連携に関する取り組み紹介

土浦協同病院

2025年度
地域緩和ケア連携調整員研修

【チームメンバー】

参加施設・所属	氏名 (職種)
総合病院 土浦協同病院 緩和ケアセンター	田代雅紀(医師)
総合病院 土浦協同病院 緩和ケアセンター	釜崎久美子 (看護師)
総合病院 土浦協同病院 緩和ケアセンター	木川田葉子 (看護師)
総合病院 土浦協同病院 緩和ケアセンター	小貫友美 (社会福祉士)

① 選定した地域の課題

- 地域によって緩和ケアを担える訪問診療医が少ない
- 介護保険の問題（ケアマネが少ない、市町村の動きもにぶい：申請後、調査までに時間を要する）
- 地域と病院の交流が少ない（特に、訪問看護師や施設）



② どんな地域を目指すのか

- がん患者さんの意向を踏まえ、住み慣れた家庭や地域での療養を選択できる地域を目指す

③ 目指す地域を実現するために取り組むべきこと

- 地域の医療、介護資源、ネットワークの把握
- 上記のため、院内組織との連携も必要
- 地域と顔の見えるを関係をきずく
- 在宅医療のサポート（緩和ケアについての知識：研修会、電話相談、緩和ケア認定看護師の同行訪問、などリソースとして活用してもらう）

④ 具体的な行動計画と ⑤ 目標達成時期

行動計画		目標達成時期
目標: 院内で地域緩和ケア調整員の役割を周知する	<ul style="list-style-type: none"> ・地域緩和ケア調整員について、組織の運営会議、関連部署への書面で周知していく ・院内HPで活動目的等をUPする 	<ul style="list-style-type: none"> ・2026年1月まで ・2026年3月まで
目標: 地域緩和ケアマップ(MAP)を作成する	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の訪問診療、訪問看護、薬局、施設、ケアマネ、地域包括支援センターのMAPの構成を検討する ・患者サポートセンター運営委員会、在宅医療委員会、地域連携室、社会福祉部と情報共有していく ・各施設に、現状調査(MAP構成した内容について)を行う ※実際に作成した構成内容をアンケートとして各施設に配布する ・MAP作成開始する 	<ul style="list-style-type: none"> ・2026年3月まで ・2026年5月～ ・2026年8月～ ・2026年11月～2027年3月
目標: 院内の地域連携に関わる部署と共に働く、地域と顔の見える関係を強化する	<ul style="list-style-type: none"> ・院内の地域緩和ケア関連のカンファレンス(県南悪性腫瘍研究会など)へ参加する ・院外の地域緩和ケア関連のカンファレンスに参加する ・当院主催のELNEC-Jを通した看護師教育を行う ・院内から連携した症例についてカンファレンスを企画する ・院外HPを活用し、活動内容をアピールする 	<ul style="list-style-type: none"> ・2026年度内

まずは
 「顔の見える関係」
 づくりから